

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習		
科 目 名	理学療法治療学-神経筋	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)		
対 象 学 年	昼間部3年	学 期	前期	教室名	901教室/機能訓練室		
担 当 教 員	大道 憲二						
実務経験と その関連資格	理学療法士として独立行政法人国立病院機構神戸医療センター(急性期)に4年勤めその後、同機構内の兵庫あおの病院(慢性期)3年、南和歌山医療センター(急性期)1年勤務したのち現在、主任理学療法士として大阪刀根山医療センター(慢性期)で3年勤務している。これまでに担当していた主な疾患は、脊椎変性疾患、脳性麻痺、脳卒中、パーキンソン病や筋ジストロフィーなどの神経難病疾患。						
《授業科目における学習内容》							
末梢神経筋疾患にかかる運動障害に対して理学療法(評価・運動療法・物理療法・徒手療法・ADL指導・生活環境支援等)を概説し、実習・演習を行いながら理学療法技術を説明する。							
《成績評価の方法と基準》							
定期テスト70%、小テスト30%の配分で成績評価を行う。小テストは各回合算し平均点を算出。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
神経難病領域のリハビリテーション実践アプローチ(メジカルビュー社、2019.02)							
《授業外における学習方法》							
毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、授業使用教材を通して復習を推奨。							
《履修に当たっての留意点》							
実技練習の際は、指定された服装にて実施する。忘れた際は定期テスト減点とするので注意すること。実習等でも中々出会いの少ない症例のため授業内に動画などを用いて説明する。							
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容			
第1回	授業を通じての到達目標	末梢神経筋疾患の障害像について説明できるようになる。	プロジェクター ポインター マイク	授業の構成を見て授業の進行を把握しておくこと			
	各コマにおける授業予定	末梢神経筋疾患の障害像について説明する。					
第2回	授業を通じての到達目標	筋ジストロフィー症の疾患の概要について説明できるようになる。	プロジェクター ポインター マイク			授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと	
	各コマにおける授業予定	筋ジストロフィー症の疾患の概要について説明する。					
第3回	授業を通じての到達目標	筋ジストロフィー症のステージ分類ができるようになる。	プロジェクター ポインター マイク				
	各コマにおける授業予定	筋ジストロフィー症のステージ分類について説明する。					
第4回	授業を通じての到達目標	筋ジストロフィー症の理学療法について説明できるようになる。	プロジェクター ポインター マイク	授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと			
	各コマにおける授業予定	筋ジストロフィー症の理学療法について説明する。					
第5回	授業を通じての到達目標	筋ジストロフィー症の総論を説明できるようになる。	プロジェクター ポインター マイク			授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと	
	各コマにおける授業予定	筋ジストロフィー症の国家試験問題の解答を実施する。					

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	多発性筋炎・皮膚筋炎の疾患の概要について説明できるようになる。	プロジェクター ポインター マイク	授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと
	各コマにおける授業予定	多発性筋炎・皮膚筋炎の疾患の概要について説明する。		
第7回	授業を通じての到達目標	重症筋無力症の疾患の概要について説明できるようになる。	プロジェクター ポインター マイク	授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと
	各コマにおける授業予定	重症筋無力症の疾患の概要について説明する。		
第8回	授業を通じての到達目標	重症筋無力症の総論を説明できるようになる。	プロジェクター ポインター マイク	授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと
	各コマにおける授業予定	重症筋無力症の国家試験問題の解答を実施する。		
第9回	授業を通じての到達目標	ニューロパチーの疾患の概要について説明できるようになる。	プロジェクター ポインター マイク	授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと
	各コマにおける授業予定	ニューロパチーの疾患の概要について説明する。		
第10回	授業を通じての到達目標	ギランバレー症候群の概要について説明できるようになる。	プロジェクター ポインター マイク	授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと
	各コマにおける授業予定	ギランバレー症候群の概要について説明する。		
第11回	授業を通じての到達目標	ギランバレー症候群の総論を説明できるようになる。	プロジェクター ポインター マイク	授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと
	各コマにおける授業予定	ギランバレー症候群の国家試験問題の解答を実施する。		
第12回	授業を通じての到達目標	末梢神経損傷の概要について説明できるようになる。	プロジェクター ポインター マイク	授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと
	各コマにおける授業予定	末梢神経損傷の概要について説明する。		
第13回	授業を通じての到達目標	腕神経叢損傷の概要について説明できるようになる。	プロジェクター ポインター マイク	授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと
	各コマにおける授業予定	腕神経叢損傷の概要について説明する。		
第14回	授業を通じての到達目標	絞扼性末梢神経損傷の概要について説明できるようになる。	プロジェクター ポインター マイク	授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと
	各コマにおける授業予定	絞扼性末梢神経損傷の概要について説明する。		
第15回	授業を通じての到達目標	末梢神経筋疾患患者のリハビリテーションの考え方を説明できるようになる。	プロジェクター ポインター マイク	授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと
	各コマにおける授業予定	復習および解説の補足等		